

IWCシャフハウゼンが、 ジェラルド・ジェンタによる「インチュニア SL」 50周年を記念して2つの限定モデルを発表

シャフハウゼン、2026年9月15日。50年前、IWCシャフハウゼンは、伝説的なアーティスト兼時計デザイナー、ジェラルド・ジェンタが手がけた「インチュニア SL」(Ref. 1832)によって、「インチュニア」コレクションのデザインと個性を決定づける、タイムピースを発表することとなりました。その後、現代のインチュニアは、アイコン的なデザインをモダンな解釈で再構築し、細部に至るまで磨き上げた姿へと昇華させています。2023年の発表以来、インチュニアは幅広いサイズ、素材、複雑機構を網羅する充実したコレクションへと成長を遂げました。そして今回、IWCは「インチュニア SL」の誕生50周年を記念して、2つの限定モデルを発表します。いずれも「インチュニア SL」から着想を得た、洗練されたサテン仕上げのシルバーメッキ文字盤が特徴的なモデルです。文字盤にあしらわれたロゴにもさりげないアレンジを加え、この記念すべきアニバーサリーを印象づけています。

50年前の1976年、IWCシャフハウゼンは「インチュニア SL」(Ref. 1832)を発表しました。初代インチュニアの後継モデルとして誕生したこのタイムピースを手がけたのは、他でもないジェラルド・ジェンタでした。ジュネーブを拠点に活動したアーティスト兼時計デザイナー、ジェラルド・ジェンタがこの大胆なデザインを生み出したのは1970年代、自らの創造性が最高潮に達していた時期のことでした。この10年間は、一体型ブレスレットを備えたラグジュアリーなスポーツウォッチが、スイス時計業界において全く新しい製品カテゴリーとして台頭した時代でもありました。先進的なデザインを備えていたにもかかわらず、「インチュニア SL」は発売当初、商業的な成功を収めるには至りませんでした。1976年から1983年にかけてわずか598本しか製造されなかったこの時計が、コレクターたちによって再発見され、その真価が見直されるまでには数十年の歳月を要しましたが、現在ではIWCの歴史上、最も人気のあるモデルの1つに数えられています。

「インチュニア SL」は、2023年に発表された現行のインチュニアの創造的な原型ともなりました。5つの機能的なネジで固定されたベゼル、特徴的なグリッドパターンの文字盤、そして一体型ブレスレット。そうした「インチュニア SL」を象徴するスタイルを受け継ぎながら、現代のモデルでは、さらなる使いやすさと着用感のよさを追求するとともに、細部に至るまで精緻な仕上げを施しています。そして今回、IWCはジェラルド・ジェンタを象徴するデザインの誕生50周年を記念し、40 mmと35 mmの2つのサイズで展開されるインチュニア・オートマティックの2種類の限定モデルを発表します。

「父が『インチュニア SL』を作ってから50年が経ちますが、彼の作品が何十年も経った今でも、これほど多くの人々にインスピレーションを与え続けていることに驚かされます。IWCが彼の芸術的遺産を大切に受け継ぎながら、新たなインチュニアを通じてその象徴的なデザインをさらに発展させていることを光栄に思います」と、ジェラルド・ジェンタの娘であり、ジェラルド・ジェンタ・ヘリテージ協会の共同創設者であるアレクシア・ジェンタは語っています。

「インチュニア・オートマティック 40 “50周年アニバーサリー”」(Ref. IW328910)と「インチュニア・オートマティック 35 “50周年アニバーサリー”」(Ref. IW324909)は、それぞれ1,150本限定生産です。いずれも、1970年代の「インチュニア SL」のバリエーションから着想を得た、独特なサテン仕上げのシルバーメッキ文字盤が際立つモデルです。Ref. 1832といえば、その特徴的なグリッドパターンの文字盤が広く知られていますが、IWCはサテン仕上げを施したシルバーメッキの文字盤を採用したバリエーションも発表していました。今回の2種類の限定モデル(アニバーサリーエディション)では、文字盤に、スーパールミノバ®をコーティングしたロジウムメッキの針とメタルのアワーマーカーが組み合わされています。さらに、ロゴに微妙なデザインの変更が加えられ、文字盤の「Ingenieur」の下にある特徴的な稲妻のマークが「インチュニア SL」の50周年を記念した「50」に変更されています。

「『インチュニア SL』は、その独特で大胆なデザインにより、ジェラルド・ジェンタのキャリアとIWCシャフハウゼンの歴史を形作ってきました。一体型ブレスレットを採用

したこのラグジュアリー・スポーツウォッチは、独自の美的表現とピュアなフォルムを打ち出し、その力強さと魔力とも言える魅力は今日に至るまで色あせることはありません。だからこそ、このアイコンの誕生50周年を祝い、特徴的なサテン仕上げの文字盤を備えた2つの特別な限定モデルを発表することは、ごく自然な流れと言えるでしょう」と、IWCシャフハウゼンのクリエイティブ・ディレクター、クリスチャン・ヌーブは話します。

新しい限定モデルのケースとブレスレットはステンレススティール製。中央のリンクを介してケースと繋がるブレスレットは、人間工学的なバランスのよさと極めて快適な着け心地を保証します。細部にまでこだわった仕上げには、サテン仕上げとポリッシュ仕上げを組み合わせしており、40 mmモデルのブレスレットにはサテン仕上げ、35 mmモデルでは中央のリンクにポリッシュ仕上げを施しています。いずれのモデルにも装備されているのは、インチュニアを象徴する特徴的なベゼル。5つのネジでケースに固定されたベゼルはサテン仕上げを基調とし、そのエッジをポリッシュ仕上げとすることで、ジェラルド・ジェンタのデザインから着想を得た彫刻的な質感をいっそう際立たせています。

「インチュニア・オートマティック 40 “50周年アニバーサリー”」は、IWC自社製ムーブメント、キャリバー32111を搭載してい

ます。ダブルラチェット式巻き上げ機構を組み込んだこの自動巻きムーブメントは、120時間のパワーリザーブを蓄えます。1970年代のオリジナルの「インチュニア SL」と同様、この時計も軟鉄製のインナーケースを採用し、磁場の影響からムーブメントを保護します。「インチュニア・オートマティック 35 “50周年アニバーサリー”」は、サファイアガラスのシースルー裏蓋を備えており、搭載されたIWC製キャリバー47110をその裏蓋越しに眺めることができます。ペルラージュ装飾とコート・ド・ジュネーブで仕上げられたこのムーブメントはまた、ゴールドメッキのローターを備えています。

充実のコレクションへと進化

2023年に新たなインチュニアを発表して以来、そのコレクションはケースサイズ、文字盤のカラー、素材、そして複雑機構において着実にバリエーションを増やしてきました。現在では、ステンレススティール、チタン、18Kレッドゴールドからブラックやカラフルなセラミックまで、多彩な素材によるモデルを展開しています。さらに、パーペチュアル・カレンダーをはじめ、時計製造における究極の複雑機構とも称されるトゥールビヨンまでをラインナップ。インチュニアは今もなお、その可能性を広げ続けています。

インヂュニア・オートマティック 40 50周年アニバーサリー

REF. IW328910

特徴

機械式ムーブメント、日付表示、秒針停止機能付きセンター・スモールセコンド、ねじ込み式リユーズ、耐磁性軟鉄製インナーケース

ムーブメント

IWC自社製キャリバー	32111
振動数	28,800回／時 (4 Hz)
石数	21
パワーリザーブ	120時間
巻き上げ	自動巻き

時計

素材	ステンレススティール製ケース、シルバーメッキのサテン仕上げ文字盤、ロジウムメッキの針とアプライド・インデックス、ステンレススティール製一体型ブレスレット、バタフライ・フォールディング・クラスプ
ガラス	両面反射防止加工を施したドーム型サファイアガラス
防水性	10気圧
直径	40 mm
厚さ	10.8 mm

インヂュニア・オートマティック 35 50周年アニバーサリー

REF. IW324909

特徴

機械式ムーブメント、日付表示、秒停止機能付きセンター・スモールセコンド、サファイアガラスのシースルー裏蓋

ムーブメント

IWC製キャリバー	47110
振動数	28,800回／時 (4 Hz)
石数	23
パワーリザーブ	42時間
巻き上げ	自動巻き

時計

素材	ステンレススティール製ケース、シルバーメッキのサテン仕上げ文字盤、ロジウムメッキの針とアプライド・インデックス、ステンレススティール製一体型ブレスレット、バタフライ・フォールディング・クラスプ
ガラス	両面反射防止加工を施したドーム型サファイアガラス
防水性	10気圧
直径	35 mm
厚さ	9.4 mm

IWCシャフハウゼン

IWCシャフハウゼンは、1868年、米国の時計技師でエンジニアでもあったフロレンティン・アリオスト・ジョーンズが、スイス北東部に位置するシャフハウゼンに時計製造におけるエンジニアとして設立しました。職人技と創造性、最先端の技術と工程を組み合わせ、時計製造に対する独自のエンジニアリングで知られる高級時計マニファクチュールです。

150年以上にわたる歴史の中で、IWCは精巧かつ丈夫で使い勝手のよいプロ仕様の計器時計や、複雑機構（とりわけクロノグラフとカレンダー機能）を組み込んだ時計をつくり、高い名声を得てきました。インヂュニア、パイロット・ウォッチ、ポルトギーゼ、ポर्टフィノといった幅広いコレクションを通じて、エレガントなドレスウォッチからスポーツウォッチ、そしてラグジュアリー・スポーツウォッチを展開しています。

チタンやセラミック採用の先駆者であるIWCは、セラタニウム®などの先進的な素材を用いた、高度なエンジニアリングと専門知識を駆使したケースの製造も行っています。

高級時計の第一人者であるIWCは、責任をもって素材を調達し、環境への影響を最小限に抑えるための努力を惜しみません。透明性、循環、責任という3つの柱に沿って、このブランドは何世代にもわたって長持ちする時計をつくり、責任をもって製品を製造、流通、修理するためのあらゆる要素を継続的に改善しています。さらに、IWCは子供たちと青少年への支援に向けて世界的に活動している組織とも提携しています。
IWC. Engineered™.

ダウンロード

「インヂュニア・オートマティック 40 50周年アニバーサリー」と「インヂュニア・オートマティック 35 50周年アニバーサリー」の画像は、press.iwc.comからダウンロードいただけます。

お問い合わせ

IWCシャフハウゼン

広報部門

Email press-iwc@iwc.com

Website press.iwc.com

インターネットおよびソーシャルメディア

Website iwc.com/ja

Facebook facebook.com/IWCWatches

YouTube youtube.com/iwcwatches

LinkedIn linkedin.com/company/iwc-schaffhausen

Instagram instagram.com/iwcwatches_jp

Pinterest pinterest.com/iwcwatches

#IWCwatches